

婚姻届

年 月 日 届出

(あて先) 奈良県奈良市長 殿

| | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 受理 第 号 | 年 月 日 | 発送 第 号 | 年 月 日 |
| 送付 第 号 | 年 月 日 | 長 印 | |
| 書類調査 | 戸籍記載 | | |
| 決 | 裁 | 附 | 票 |
| 住 | 民 | 票 | 通 |
| 知 | | | |

| | | | | | |
|---------|---|--|--|--|-------|
| (1) | (よみかた) 氏 名 | 夫 にな る 人 | | 妻 にな る 人 | |
| | 氏 名 | 氏 名 | 氏 名 | 氏 名 | |
| (2) | 生 年 月 日 | 昭和・平成 年 月 日 | | 昭和・平成 年 月 日 | |
| | 住 所 (住民登録をして いるところ) | 番地 番 号 | | 番地 番 号 | |
| (3) | 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください) | 番地 番 号 | | 番地 番 号 | |
| | 筆頭者 の氏名 | 筆頭者 の氏名 | | | |
| (4) | 父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄 (他の養父母は その他の欄に 書いてください) | 父 | 続 き 柄 | 父 | 続 き 柄 |
| | | 母 | 男 | 母 | 女 |
| (5) | 婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍 | <input type="checkbox"/> 夫の氏 | 新本籍 (左の <input type="checkbox"/> の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) | | |
| | | <input type="checkbox"/> 妻の氏 | 番地 番 号 | | |
| (6) | 同居を始めた とき | 年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください) | | | |
| (7) | 初婚・再婚の別 | <input type="checkbox"/> 初婚 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日) | | <input type="checkbox"/> 初婚 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日) | |
| | 同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と | 夫 | 妻 | 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々また は1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) | |
| (8) | 夫妻の職業 | 夫の職業 | | 妻の職業 | |
| | その他 | | | | |
| 届 出 人 | | 夫 | | 妻 | |
| 署 名 押 印 | | 印 | | 印 | |
| 事件簿番号 | | 住定年月日 | 夫 | 年 月 日 | 妻 |
| | | 連絡先 | 夫 | () | 妻 |
| | | | | () | |

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。(消えるボールペンは使用しないでください。)
日曜日や祝日でも届けることができます。この場合、宿直室で取扱うので、事前審査をおすすめします。届書は、1通でさしつかえありません。
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。
夫・妻になる人が未成年の場合は、「その他」欄に『この婚姻に同意する』旨を記入のうえ、婚姻する未成年者の父母両方に住所・生年月日を
記入のうえ、署名・押印をもらってください。

| | |
|---------|-------------|
| 証 人 | |
| 署 押 名 印 | 印 |
| 生 年 月 日 | 昭和・平成 年 月 日 |
| 住 所 | 番地 番 号 |
| 本 籍 | 番地 番 号 |

- 婚姻前(旧姓)の氏名で戸籍謄本の字体どおり正確に記入してください。
- 転入・転居を同時に届出する場合は、新しい住所を記入してください。
- 「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
養父母については「その他」欄に書いてください。
(例:妻の養父○○○○ 続柄「養父」)
- には、あてはまるものにのようにしるしをつけてください。
「氏を選択」・「新本籍」の記入がないと受理できないことがあります。
「新本籍地」は該当する市区町村に事前確認をおすすめします。
- 結婚式も同居もまだしていない場合は空欄になります。
- 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。

婚姻前(旧姓)の氏名を必ず本人が自署し、押印してください。
届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

- ◎ 印は、氏が同じでも各自別々の印を押してください。
- ◎ 届出人の印をご持参ください。
- ◎ 押印について、認め印は可、スタンプ印・ゴム印は不可です。



このたびは、ご結婚おめでとうございます。
奈良市では婚姻という人生の大きな節目を迎えられた方を祝福し、生涯の良き思い出となるよう、奈良女子大学とコラボレーションを行い、奈良市オリジナル婚姻届を作成しました。
お二人の末永いお幸せを心からお祝い申し上げます。

